



Yonago East Weekly

「ロータリーに誇りを！ 参加しよう そして、行ってみよう」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/木美俊彦 ●幹事/長棟信泰 ●会報/楠 明彦

会員数 90名
(正会員 89名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

本人誕生日: 2日 秦野愛子君 3日 植田昭君
 4日 長谷川渉君 5日 大野耕策君
 6日 赤山俊寛君 野坂裕一君
 17日 林俊一君 19日 植田三男君
 20日 岡久治君 25日 笠尾幸広君

会長挨拶

本日は後にいろいろありますので、短くお話しします。合同例会がありまして当クラブでは10人の新入会員に並んでもらって壮観でした。また、上森元会長の本葬がありました。これらのことが私にはインパクトでありまして米子東ロータリークラブの良き伝統を若い人に引き継いでいただいで当クラブが発展するようにと願っています。

幹事報告

- 4/26 第1・2グループ合同IMチラシ配布
- 2/13 5RC合同例会 52名登録
- 2/16 上森家・備中屋本店合同葬
- 2/23 中学生作文コンテスト表彰式(サンルート)
- 2/26 飲み会のお誘い (三井別館)
- 3/19第4回家庭集会のご案内
(バイキングレストかたおか)
- 3/15青少年交換派遣学生オリエンテーション
(津山国際ホテル)
- 地区関係費(後期分)振込みの御礼
- 例会変更のお知らせ
鳥取中央RC 2/24(月)夜間例会
ビジター受付あり

2/23 第12回米子市中学生作文コンテスト表彰式 (ホテルサンルート米子)



最優秀賞 井田唯花 さん (米子市立福米中学校)
 優秀賞 和田由美子さん (" 尚徳中学校)
 優秀賞 井上優子さん (" 福米中学校)

次回プログラム
3/5 「ロータリーの友」 紹介 他



Engage Rotary, Change Lives
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

<プログラム>

<金山ガバナー補佐地区活動報告>



1月25日の補佐会で報告されたことを話します。

○ 2016～2017のガバナーが境港の庄司尚史会員に決まりました。津山、益田、岡山の次ということになります。小さなクラブの場合には周辺のクラブが力を合わせて盛り立てることになりますので、よろしく願いいたします。

○ 青少年交換留学生が決まりました。

○ 米山奨学生が決まりました。

○ シドニー大会の早期登録が計42名あり、第2グループからは6名でした。

○ ライラが3月23日に津山で行われます。

○ IMが、米子南のホスト、鳥取南のコホストで、4月26日にコンベンションで催されます。この8年間なかった懇親会も行います。調べましたところ、懇親会をしてないのは鳥取県だけだということで、ロータリーの目的の一つである親睦を深めるためには是非にと思われるからです。

<米子南RC 片山会長IM案内>



4月26日に配布のチラシのとおりで開催します。親睦を深めるために懇親会を行いますので、昼食は無しです。懇親会は米子全日空ホテルです。テーマは母子と健康です。参加をよろしくお願いいたします。

「鳥取県の医療体制について」

元米子東RC会員、前鳥取大学 学長 能勢隆之 氏



ロータリーのことから話しますと米子東クラブに20年近く入っております鳥取に行きました。鳥取で学長をしている時に米山やら外国のクラブから大変な支援を受けました。鳥取と米子の両方を経験しますと、県の金の使い方が鳥取に偏っていることがよく分かります。西部で優勢なのは医療と鉄道だけであります。東西の文化も違います。鳥取ロータリークラブでは「女が入会したら辞める。」と言う長老がおりまして辞めてもらったらいいと思って女性に入会してもらいましたが、その方は「そんなこと言ったか。」と言って辞めませんでした。それに比べると、米子東はざっくばらんです。このようにロータリーはクラブによって雰囲気異なります、外国ではもっと違います。外国と比べると日本では寄付の痩せ我慢が目立ちます。

医療のトピックでは、stap細胞やips細胞の話では、細胞の初期化の定義が問題です。本人達も定義はできないと言うのですから。臓器移植については、鳥取大学ではしません。延命効果に疑問があることと、提供をしなければならない文化ができるかと困るからです。子供に対して必要だということになると「あなた、男でしょ。」ということになりかねません。

鳥取県西部の医療では、今後は高齢者医療かが問題です。生命が終わるといことはやむを得ないことですが、世代交代ということ言えば、鳥取ロータリークラブでは毎年半分が入れ替わりますが、米子東は皆さん長くて、市会議員の先生方も長い。大学病院が何をすべきかは地域で何を担うかの機能分担ですが、以前には救急医療も研究にならないからとの反対意見もありました。病院が何をやるかということについては、昔のことですが労災病院には産科はありませんでした。なぜならそれは生理であって労働ではない、女性は労働者でないということでした。文化を変えるには時間がかかりますから、人間を変える方が速いと思います。鳥取大学は地域で果たすべき役割を担うべきだと考えています。それではノーベル賞が狙えないと言った先生がいましたが、その方は未だノーベル賞を取っておられません。

高齢者医療の問題の一つは、今後は1人で在宅で安心して居られるかです。それを担うものとして、救急医療と主治医の役割分担の問題があります。男は、今後妻からも子供からも捨てられます。私もそのように何の価値もない男だと気がつきまして生きておっついでいいのだろうか、ましてやロータリアンなんかにはなれないぞと思っております。